

令和4年度伊万里市議会「議会報告会・意見交換会」報告書

「伊万里市議会基本条例」第6条第1項及び「伊万里市議会と市民との意見交換会実施要綱」に基づき、議会報告会及び意見交換会を令和4年11月27日に伊万里市民センター文化ギャラリーにて開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症対策により、会場の定員が収容人数の半分と規定されておりましたので、市民の参加は50名を上限とし、事前申込制をとりました。11月1日から13日までを周知期間とし、回覧板、コミュニティセンターへのチラシ設置、市内小・中学校及び義務教育学校の長子へのチラシ配布、SNS、各地区区長会での呼びかけなどにより周知を行いました。申し込み方法はFAX、電話、メール、直接申込みとしましたが、事前申込者は19名にとどまりました。

当日は2名の欠席、1名の飛び込み参加があったため、実際の参加者数は18名でした。参加者には感染症対策として受付での検温、手指消毒にご協力頂き、AからFの6グループに分かれてご着席頂きました。

まず前半に、スライドを使用して各常任委員会の報告を行いました。報告内容は議会だよりに掲載した事業の中からピックアップをし、委員会での質疑及び審議結果の詳しい説明がなされました。参加者からは、市政発展に対する議員の取り組みや考えを知ることができたとの声がありました。

後半には、「あなたが求める伊万里の将来・未来像」をテーマに、各グループに議員が2～3名ずつ入り、意見交換をしました。最後にグループごとに市民の発表者を決め、グループ発表を行いました。各グループからは、伊万里市についての長所や短所、また、これからの伊万里市のために何が必要かといった視点で発表がなされ、様々なご意見をお聞きすることができました。意見交換会で出された意見については、添付資料の各グループ発表まとめ及びアンケート結果にまとめており、令和5年2月1日発行の議会だより第84号にも掲載いたします。

参加者の意見の中に、「小・中・高校生、子育て世代などを含め、幅広く意見を聞く場を持ってほしい。」といった趣旨のご意見が複数ありました。伊万里市議会では、市民の代表機関として幅広い世代の意見を聞くため、特に子育て中の保護者世代に市政に関心を持って頂くために、令和2年2月に市内7か所で開催した意見交換会ではテーマを「子育てしやすい伊万里にするためには」としましたが、保護者世代の参加はごく少数でした。また、今回の意見交換会では市内小・中学校及び義務教育学校の全ての保護者へ、学校を通じて約3,000枚のチラシを配布して頂きましたが、申込みはありませんでした。

このことから、議会として報告会及び意見交換会のあり方について、根本的な見直しと検討が必要と考えます。議会が呼びかけ集まって頂くのではなく、市民が集まっている場所はこちらから出向いて短い時間でも話をさせて頂く、申込制による意見交換会の周知を行い、市民グループや団体との意見交換会を複数回開催するなど、これまで議会との接点がなかった市民との接点が増えるような取り組みを、今後の広報広聴委員会の研究課題とします。